

社会福祉学科			社会福祉 専攻						
科目名: 心理学			担当教員 氏名: 竹ノ山 圭二郎						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
2	1年次	前期	専門科目	講義	選択	社会福祉士国家試験基礎受験資格(必修)			
実務経験を用いてどのよ...心理臨床の実務経験に基づき、精神障害の理解、心理アセスメントの技法、心理臨床の事例検討などになな授業を行っているか: ついても授業展開の中に盛り込んでいる。									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
人に対する支援は一律のものではない。対人援助に関わる人は、「個人」を理解することが必要となる。心理学を学ぶことによって、人を理解しようとする態度と、人を理解するために必要な基礎知識とを身に付けることができる。					ストレス、感情、認知、社会、 発達、心理的支援				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 6.				
A 知識・理解力			心理学の基礎知識について理解している						
C 論理的思考力			人間の行動や心理について科学的、客観的に思考する基礎的な力を身に付けている。						
E 自己管理能力			自己について理解を深めることで自己管理能力を高める						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	50 %	発表:	%	実技試験:	%	その他:	50 %
特記事項: 自発的な授業時間外学習および積極的授業参加に基づいて成績評価を行う。クリッカーを用いた双方向型授業を行います。また第15回目は、ポスターツアーによるプレゼンテーションを行います。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 初回時に授業の進め方および評価方法を説明します。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 主体的に学習できるように、学習到達度について毎回フィードバックします。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な時間(分)				
①心の理解と福祉の支援				【予習復習】心理学の学問領域	30				
②動機づけと適応				【予習復習】クエス1: 動機づけ	180				
③感情・情緒				【予習復習】クエス2: 感情	180				
④感覚・知覚・認知				【予習復習】クエス3: 感覚・知覚・認知	180				
⑤学習				【予習復習】クエス4: 学習	180				
⑥記憶と知能				【予習復習】クエス5: 記憶・知能	180				
⑦性格				【予習復習】クエス6: 性格	180				
⑧他者と集団: 社会心理				【予習復習】クエス7: 社会心理学	180				
⑨発達				【予習復習】クエス8: 発達	180				
⑩高齢期の心理				【予習復習】クエス9: 高齢期	180				
⑪精神障害・知的障害				【予習復習】クエス10: 精神科領域の障害	180				
⑫発達障害・認知症・ストレス				【予習復習】クエス11: ストレス	180				
⑬心理学的アセスメント				【予習復習】クエス12: 心理アセスメント	180				
⑭カウンセリングと心理療法				【予習復習】クエス13: 心理療法	180				
⑮福祉における心理的支援				【予習復習】ボスレベルクエス: 福祉における心理的支援	240				
使用テキスト: 指定テキストはありません。必要な参考資料は、図書館等で自ら収集してください。				その他参考文献など: 心理学事典[平凡社]; 心理学辞典[有斐閣]; 心理学辞典[丸善]; アイゼンク教授の心理学ハンドブック[ナカニシヤ出版]					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): クエスト型授業によるアクティブラーニングで学びます。履修学生同士が協働しながら、心理学の概要を楽しみ学びます。学ぶことに喜びを感じるようになることが、この授業の第一の目標です。参加しないと損しますよ。									